



令和8年度
豊能町立よの東学園
確かな学び通信
6月2日
担当:松岡



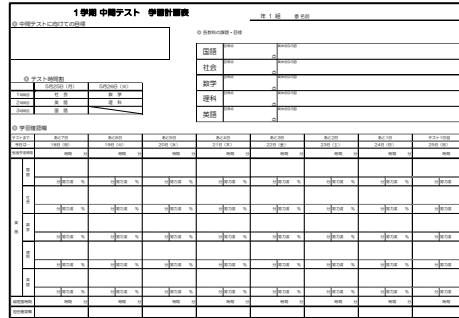
ちりも積もれば山となる

今年度初めての定期テストが終わりました。すでにテストが返却され、「努力の成果が出た。」「もう少し頑張ればよかった。」など、すでにふりかえりをしたと思います。

しかし、そこまでのふりかえりで終わるのはもったいないです。もっと深くふりかえることができます。では、どうやってふりかえるのかというと、活用してほしいのは2つ。

1.「学習計画表」

テスト週間中に自分自身が、「どの教科にどれだけ時間をかけ、どんなことをしたか」を確認することができます。よく計画表を見ていく(分析する)と、「全体的に勉強時間が足りなかった」や「この教科に時間をかけすぎた」、より詳しく書いている人は、「覚えることに時間をとりすぎた」や「集中できる時間帯は朝だ」など、さまざまなことがわかってきます。



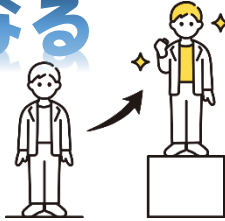
自分にあった勉強の仕方を見つけるヒントになるので、ぜひやってみてください。

2.「返却された答案」

これをしっかりと見直し、自分の弱点や課題を分析することで、今回のテストを今後に生かす絶好のチャンスにすることができます。

「定期テストが終わったから、もういいやん!」ではなく、次の定期テストのために、将来の自分のために、この絶好のチャンスを利用しましょう。

「でも、どうしたらよいか?」と悩んでいる人もいます。そこで、テスト後に行ったらよいこと・アドバイスを載せました。参考にして、ぜひやってみてください。



①たまたま正解した問題のチェック

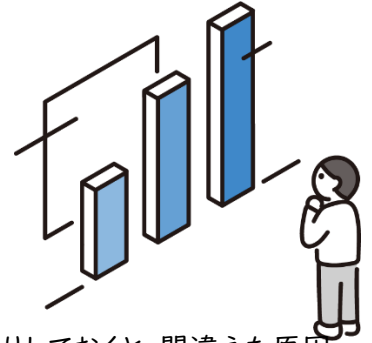
「選択問題で2個までに絞ることができたけど、そこからは勘で答えた。」や「なんとなく書いたら正解した」など、たまたま正解できた問題は、理解できていないものです。「正解したからほっといてよい!」なんてことはありません。

隠れている弱点をしっかりと掘り起こしましょう。

②間違えた問題は、どんな問題だったかを分析する。

解答用紙と問題用紙を用意し、間違えた問題を見直し、何が原因だったかを分析しましょう。「計算ミスや、読み違いなどのケアレスミス」「解き方や考え方がわからなかった」「単語や重要語句を覚えていなかった」等のまちがった原因を確認します。

その際に、自分なりに印をつけたり、色分けをしたりしておくことで、間違えた原因の傾向が分かりやすくなります。



③それぞれの原因の対処

対処の方法はいろいろありますが、私やほかの先生方から聞いたアドバイスを載せています。参考にしてください。

- ・「**ケアレスミス**」は、問題を解いた後に確認をすることでかなり少なくできます。また、問題を読んでいるときに、大切になる言葉(記号で答えよ など)に印をするとよいです。
- ・「**覚えていなかった**」場合は、日ごろから少しずつ覚えていくようにするしかありません。テスト期間中にだけ覚えるのではなく、毎日5分でも重要語句や単語を覚えていくようにルーティン化するとよいです。
- ・「**解き方や考え方がわからなかった。**」については、「なぜその答えになるのか」をしっかりと考えることが重要です。答えをみてわかった気にならず、答えまでのプロセス(過程)をしっかりと理解できるようにしましょう。



テスト週間が終わるとクラブ等があり、テストの分析・対処が大変になってきますが、しんどいのは最初だけです。まずは、「小さなことからコツコツと!!」行動しましょう!!約1か月後には、期末テストがありますよ。